

長さ 1.8m のサツマイモを収穫

11月下旬、末吉町の瀬戸山國夫さんの家庭菜園の畑で、1.8mもの長さのサツマイモが収穫されました。瀬戸山さんは秋から冬にかけて約15種類の野菜を栽培しており、サツマイモは芋餅を作るために栽培していました。とても長いサツマイモを収穫した妻の瀬戸山ユキミさんは「こんなに長いサツマイモは初めて。驚きながら掘り進めました」と話しました。



収穫したサツマイモを手にする瀬戸山さん

創部7年目で県大会初出場

11月1日、曾於高校サッカー部は創立7年目で初めて大隅地区の代表として県大会へ出場しました。初戦の強豪・鹿児島中央高校に敗れてしまったものの、前半を無失点に抑える守りの強さを発揮しました。ゲームキャプテンを務めた3年の八木廉斗君は「今まで先輩が積み上げてきたものや保護者の応援があり出場できました。後輩部員はもっと強くなって欲しい」と大会を振り返りました。



曾於高校サッカー部の皆さん

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

諏訪校区から住民へ品物を配布

12月13日、諏訪校区では新型コロナウイルス感染防止のため中止となった「諏訪ふるさと祭り」の替わりとして品物などを配布するセレモニーが行われました。諏訪小学校生徒全員へ図書カード、グラウンドゴルフ大会参加者へ賞品、80歳以上の方にマスクをそれぞれ配布しました。公民館長の谷元清己さんは「このような状況の中で、校区の皆さんに喜んでもらえてよかった」と話しました。



品物を配布するセレモニーのようす

笠木小で「人権の花」運動の閉校式

12月3日、笠木小学校で「人権の花」運動の閉校式が行われました。この運動ではひまわりを育てることで、友だちと協力することや思いやりの心を持ち、相手の立場になって考えることを学びました。各学級の代表児童による意見発表や人権擁護委員の講話、人権キャラクターとのふれあいもあり参加者全員で人権について考える素晴らしい時間になりました。



人権キャラクターも参加した閉校式のようす

統計調査の功績を表彰

12月15日、令和2年度統計功績者表彰伝達式が行われました。各種統計調査員に長年携わった大隅町の牧之瀬和子さんに統計功績者総務大臣表彰、末吉町の川添彩さんに農林業センサス功績者農林水産大臣表彰の表彰状が伝達されました。お二人は「皆様の協力があってこそ正確な調査ができます。調査に協力いただきながら、今後も調査員や指導員として携わっていきたい」と抱負を述べられました。



表彰を受けた牧之瀬さんと川添さん

ラグビー中村選手のPR動画を配信

12月14日、曾於市PR大使でラグビー選手として活躍している中村亮土選手のPR動画「そがらしそお市 中村氏」が配信されました。中村選手はPR大使に着任して2年目。動画は曾於市にそがらし(たくさん)ある魅力を子どもたちから学ぶというもの。全三回に分けて配信され、曾於市のおいしいもの・いきたい場所・地域のひとを紹介しています。中村選手のPR動画は曾於市ホームページやYoutubeで見ることができます。



PR動画に出演した中村選手

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

第3子出産祝金を交付

12月16日、各支所で第3子出産祝金の交付式が行われました。この祝金は少子化対策の一環として行われているものです。曾於市の住民で出産後3カ月以上生活の拠点を置き、第3子以降に生まれたお子さんに1人あたり10万円を支給しています。今回は末吉町6名、大隅町1名、財部町2名の子どもたちに交付されました。

交付式では、市長が「子育て支援センターを活用し、困ったことがあったら何でも相談してください」と話していました。

申込方法

本庁・各支所に申請書がありますので、必要事項をご記入のうえ提出してください。

問 財部支所 福祉事務所

☎0986720936

本庁 介護福祉課

☎0986768807

大隅支所 保健福祉課

☎0994825925



財部町



末吉町

フードバンクそお協定式

12月18日、市はフードバンクそおとフードバンク活用支援事業の実施に関する協定書を締結しました。これにより市が把握する生活困窮者へフードバンクそおを通じて円滑に食料を届けることができます。会長の水流純一さんは「コロナ禍でフードバンクの役割が増えています」と述べ、年末には年末年始緊急支援として生活困窮者へ総額1万円相当の食料品が配布されました。



フードバンクそおの水流会長

農業青年クラブが子ども食堂を支援

12月15日、曾於地区農業青年クラブ連絡協議会が、曾於市内3カ所の子ども食堂へ会員が生産した農産物を提供しました。また曾於市生活研究グループが作成した郷土料理レシピ集も手渡されました。子ども食堂の代表者は「農産物の提供はありがたいです」と感謝の言葉を述べました。会長の豊田貴幸さんは「喜んでもらえてうれしい。今後も継続したい」と話しました。



農産物提供のようす

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

親子でミニ門松づくり

12月19日、財部小学校でシルバー人材センター会員が講師となり家庭教育学級「親子ミニ門松づくり」が行われ、新型コロナウイルス感染症予防のため16組に限定しての実施となりました。参加者は新年が良い年になるように思いを込めながら色鮮やかな門松を作り上げていました。子どもたちは「家の玄関に飾ります」と話しできあがった門松を嬉しそうに抱えていました。



完成したミニ門松

自衛官募集活動に感謝状

12月18日、自衛官募集活動の推進に多大な貢献をされた末吉町岩崎の吉田道信さんへ自衛隊鹿児島地方協力本部より感謝状が贈呈されました。

吉田さんは平成23年から末吉町募集相談員として対象者へ情報提供活動などを行ってきました。「期待に添える十分な活動はできませんでしたが、とてもありがたく思います」と話しました。



表彰を受けた吉田さん

I o Tの実装に向けてドローン受納

12月23日、地域I o T実装推進事業で活用するドローン5台の引き渡し式が行われました。

この事業ではドローンにタブレット端末と地図情報システムを連携させ、災害・耕作地・伐採林調査などへの活用や熱反応カメラを装備し有害鳥獣の捕獲や夜間の行方不明者の捜索などに役立てる実証をしていきます。五位塚市長は「各種調査などへの有効活用を目指します」と話しました。



ドローンを納品した南榮工業の石神社長

ボーイスカウトが歳末募金活動

12月19日、ボーイスカウト曾於第6団が市内で歳末助け合い募金活動を行いました。この活動は、昭和44年から毎年行われ今回で51回目です。当日は16名の団員が募金を呼びかけ、集まった募金は共同募金とユニセフに寄付されました。

参加した末吉中3年の徳満要さんは「募金は生活に困る方々に届くことと思います。募金していただきありがとうございます」と話しました。



募金活動を行うボーイスカウト

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

長年にわたる援護事業を表彰

12月24日、末吉地区遺族会で43年間にわたり戦没者遺族、戦傷病者、引揚者などの援護事業に携わってきた田實忠義さんが援護事業功労者への厚生労働大臣表彰を受賞しました。

田實さんは「末吉地区遺族会では書記・会計・副会長など役員として活動を行ってきました。受賞できて感無量。元気な間は活動を続けていきたいです」と話しました。



表彰を受けた田實さん

おいしいお米をみなさんに

12月23日、第13回曾於市米自慢コンテストの表彰式が行われ応募数58点から5名が表彰されました。

【普通作の部】

最優秀賞 小川原 俊昭さん（大隅町大川原）

優秀賞 古川 真一さん（末吉町高松）

【減農薬・無農薬の部】

最優秀賞 谷口 文雄さん（末吉町菅渡東）

優秀賞 東丸 勇さん（末吉町徳留）

優秀賞 長野 修治さん（財部町中正ヶ峯）



受賞者のみなさん